

令和7年12月1日

旭市議会議長

議員名 林 晴道

令和7年度政務活動費収支報告書について

旭市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、下記のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収 入

政務活動費 157,500円

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	40,580円	茅野市及び諏訪市視察
研 修 費		
広 報 費	118,345円	広報Vol.122 按分率77.68
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	158,925円	

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残 額 0円



活動実施報告書

令和7年 10月 30日

【 調査研究費 】

(議員名)

林 晴道

年月日	7年 4月 23日(水) ~ 7年 4月 25日(金) 3日間				
活動場所	長野県茅野市及び諏訪市				
相手方	①茅野市役所 ②茅野市民間 ③諏訪市駅前交流テラス ④茅野市子ども館				
活動の目的・ 内容・成果等	(目的) ①地域公共交通の取り組み、AIオンデマンド交通「のらざあ」について ②茅野市民館の管理運営について ③諏訪市駅前交流テラス「すわっチャオ」について ④茅野市こども館「CHUKOらんどチノチノ」について				
	(内容) 別紙のとおり				
	(成果等) 別紙のとおり				
上記活動に 要した経費	行き先	利用交通機関	経路	金額	
	茅野市	J R	飯岡駅~茅野駅	往復17,980円	
	茅野市~諏訪市	J R	茅野駅~上諏訪駅	往復400円	
	宿泊費	22,200円		内容: 2泊	
	参加費			内容:	
	資料購入費			内容:	
	合計額 40,580円	その他()			内容:
	備考				

活動実績報告書

行政視察及び研修を令和7年4月23日から同年4月25日の日程で実施しました。

まず、地域公共交通の取り組みに関して、茅野市役所に伺い、担当課からAIオンデマンド交通「のらざあ」について説明をもらいました。従来のバス路線を廃止して始めた「のらざあ」のサービスは、茅野市で2022年8月から運用を開始したAI（人工知能）乗り合いオンデマンド交通で、これまで路線バスが走っていた市内中心部とその周辺部で運行され、スマートフォンの専用アプリや電話で乗車を予約するオンデマンド交通です。実際に設置された停留所の他にもアプリ上に仮想停留所が置かれ、全部で約8000カ所の停留所から市民に限らず誰でもアプリを使ってサービスを利用できます。

運行時間は土日祝日を含めて毎日8～19時（年末年始は除く）で、利用希望日の1週間前から利用の1時間前までの予約が必要。地元の交通事業者であるアルピコタクシー、第一交通、諏訪交通、茅野バス観光の4社による共同体が運行事業者を務めています。乗り合いに使用する車両は、定員7人が1台、定員10人が5台、定員14

人が2台の合計8台が使われています。

1回あたりの利用料金は距離3km未満が300円、3km以上5km未満が500円、そして5km以上が700円。小中学生は半額になり、高齢者や障害者の割引もあります。支払いは、アプリを介したクレジットカード払いか、その場で現金払いです。市が開発を依頼したVia Mobility Japanのシステムが予約状況を解析し、利用者それぞれの利便性と運行事業者の対応をバランスさせる形で配車しています。こうした仕組みから、茅野市では「のらざあ」を「AI乗合オンデマンド交通」と呼んでいます。担当職員から説明をもらった後、実際乗車利用をしました。

次に、旭市多世代交流施設「おひさまテラス」と同類施設となる、諏訪市駅前交流テラス「すわっチャオ」に関して、視察しました。この施設は“あつまる”“つながる”“はじまる”ための拠点である最新施設諏訪湖を一望できる、上諏訪駅徒歩30秒の施設でした。多世代交流、多文化交流その他多様な交流を促進することにより、市民文化の向上や地域の賑わい創出の活動拠点づくりに寄与することを目的とする施設です。会議室や各スタジオ、調理研修室等を併せ持

ち、「多機能」「多世代」「多目的」な活動が可能です。リゾート
テレワーク・ワーケーション・在宅勤務などへのニーズ向けとして
は、用途や人数に応じて会議室を可動壁で完全個室としたり繋げたり
柔軟な対応ができます。また、館内のフリーWi-Fiとは別回線で
有料施設利用者向けにWi-Fiルーター貸出しサービスを行っていま
すので、セキュリティ面でも安心してご利用できるとの事でした。

最後に、茅野市民館の管理運営に関して、説明をもらいました。
この茅野市民館は、劇場・音楽ホール、美術館、図書室、スタジオ、
レストランなどのさまざまな機能を合わせ持ち、利用される方によ
って多様な使い方に対応できる文化複合施設です。

基本構想段階から設計案、管理運営計画に至るまで市民主導によ
る計画づくりがされ、現在も市民と協働した運営が行われています。
JR茅野駅に直結した好立地に位置する茅野市民館は、「市民一人ひ
とりが主役になれる市民のひろば」をコンセプトに、駅前の賑わい
創出をはかるとともに、さまざまな表現やアートに親しみ、人々が
集う地域の交流拠点をめざしています。

運営主体は、株式会社地域文化創造で指定管理者を行っています。

- ・敷地面積：15,533.43 平方メートル
- ・建築面積：6,011.49 平方メートル、延床面積：10,806.37 平方メートル
- ・主な施設：マルチホール（大ホール）780 席（劇場形式の場合）
コンサートホール（小ホール）300 席
アトリエ（リハーサル室）200 平方メートル
美術館（常設展示室、市民ギャラリー350 平方メートル）
イベントスペース 110 平方メートル
スタジオ（練習室）3 室
図書室
レストラン
共通ロビー、テラス、中庭、東広場、駐車場 258 台

茅野市行政視察 行程表

日次	行程	宿泊先
4月23日 (水)	<p>旭駅発 → 東京駅 → 新宿駅 (8:01発) (9:34着 10:10発) (10:24着 11:00発) 特急しおさい8号 特急あずさ17号</p> <p>→ 茅野駅 → 茅野市役所 → のらざあ (13:04着) (14:00~15:00) (15:30~15:50)</p> <p>→ CHUKOらんどチノチノ → ちのステーションホテル 泊 (16:00~17:00) (17:15着)</p> <p>〈訪問内容〉 14:00~15:00 AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」について 16:00~17:00 CHUKOらんどチノチノについて</p>	<p>ホテル「ちのステーションホテル」 長野県茅野市ちの3556-1 TEL:0266-72-1245</p> <p>旭駅→茅野駅 8,990円</p> <p>のらざあ 3km未満 300円/人 3kmから5km未満 500円/人 5km以上 700円/人</p>
4月24日 (木)	<p>ホテル → 茅野駅 → 上諏訪駅 (8:30発) (9:24発) (9:30着)</p> <p>→ 駅前交流テラスすわっチャオ → 上諏訪駅 → 茅野駅 (10:00~11:00) (13:15発) (13:21着)</p> <p>→ たてしな自由農園 → エクシブ蓼科 泊 (15:00~16:30) (18:00着)</p> <p>〈訪問内容〉 10:00~11:00 駅前交流テラスすわっチャオについて 15:00~16:30 たてしな自由農園</p>	<p>ホテル「エクシブ蓼科」 長野県茅野市北山蓼科4035 TEL:0266-71-8111</p> <p>茅野駅→上諏訪駅 200円</p> <p>上諏訪駅→茅野駅 200円</p>

4月25日 (金)	<p>ホテル → 茅野市民会館 → 茅野駅 (9:00発) (10:00~11:00) (11:39発) 特急あずさ22号</p> <p>→ 新宿駅 → 東京駅 (13:45着 13:58発) (14:12着 14:39発) 特急しおさい5号</p> <p>→ 旭駅 (16:11着)</p> <p>〈訪問内容〉 10:00~11:00 茅野市民会館・茅野美術館の管理運営について</p>	茅野駅→旭駅 8,990円
備考	<p>〈視察地〉 ・茅野市役所(8:30~17:15) 長野県茅野市塚原2丁目6-1 0266-72-2101 ・駅前交流テラスすわっチャオについて(9:00~21:30) 長野県諏訪市諏訪1丁目6-1 0266-75-5257 ・CHUKOらんどチノチノ(13:00~19:00) 長野県茅野市塚原2丁目6-1 0266-72-2101 ・たてしな自由農園(9:00~17:30) 長野県茅野市米沢3905-1 0266-75-5510 ・茅野市民会館・茅野美術館(9:00~20:00) 長野県茅野市塚原1丁目1-1 0266-82-8222</p>	
訪問者		

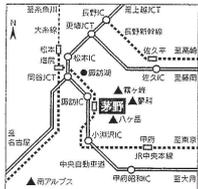
Chino Cultural Complex

Photograph by Satoshi Asakawa

受賞歴

- 2007 日本建築学会賞(作品)
- 2007 日本建築学会作品選奨
- 2007 日本建築家協会賞
- 2007 日本建築業協会賞
- 2006 JCD Design Award 銀賞
- 2007 国際照明デザイナー協会 (IALD) Radiance Award
- 2007 北米照明学会 (IILD) Award of Merit
- 2007 グッドデザイン賞

名称	茅野市民館
所在地	茅野市塚原一丁目1番1号
設置者	茅野市
発案主体	株式会社地域文化創造
設計監理	古谷誠輝/NASC A+茅野市設計事務所協会
施工	清水建設・丸溝建設 建設共同企業体 新築・大信 建設共同企業体 兼修・菊新 建設共同企業体 サンケイトエンジニアリング 木村建設 オクセス 共益電気 高見土建 泉建設
建築用途	劇場・美術館・音楽ホール・図書館 (マルチホール780席、コンサートホール300席)
敷地面積	15,533.43㎡
建築面積	6,011.49㎡
延床面積	10,806.37㎡
最高高さ	29.105m
建物構造	SRC造(一部S造及びRC造)
建物規模	地下1階 地上3階
■市民主導による検討の経過	
1999.8	茅野市の地域文化を創る会設立(基本構想の検討)
2001.6	新市民会館基本計画策定委員会設置 (設計条件の検討)
2002.2	新市民会館管理運営計画策定委員会設置 (計画家の検討・設計案の検討)
2004.11	サポーター組織設立準備会設立
2005.2	運営委員会設置
2006.9	事業企画会議設置
2006.11	NPO法人サポートC設立
2007.4	茅野市民館協議会設立
■設計監理の経過	
2001.1	設計選定プロポーザル(一般公開方式)
2002.3-2002.8	基本設計
2002.9-2003.1	実施設計
2003.8-2005.3	工事期間



開館時間 午前9時～午後10時まで
(ただし美術館常設展示室・イベントスペース・図書館は午前9時～午後7時)

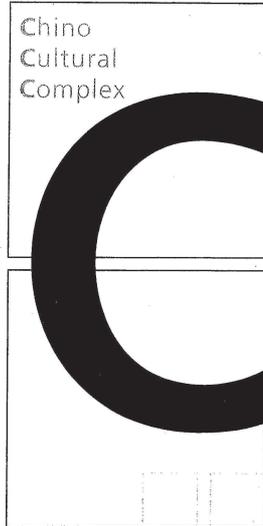
休館日 毎週火曜日
(ただし火曜日が祝日の場合は、その直後の休日でない日)
年末年始12/29～1/3

- JR中央本線・茅野駅下車、東口直結
- 中央自動車道・諏訪ICより車で約12分
- 茅野市民館駐車場・258台(第1～第6)

茅野市民館

<http://www.chinoshiminkan.jp/>

茅野市民館指定管理者
株式会社地域文化創造
〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号
Tel: 0266-82-8222 Fax: 0266-82-8223



茅野市民館



1999年、基本構想を創り上げるところから、設計者を選び、理想の市民館を専門家とともに設計するまで、市民主導で検討が行われました。
2003年に着工し、2005年10月、「市民一人ひとりが主人公になれる市民のひろば」が誕生しました。

■ 老若男女たくさんの人が集い、輪が生まれる場所になつたらいいと思います。
(会社員 女 29歳)

市民一人ひとりが 主人公になれる市民のひろば

■ 古代ローマの広場のよう市民が歌って踊って、自己実現できる場。
(会社役員 男 58歳)

■ テートに使えるような場所がやっとなってきた。と思われた。
(設計 男 30歳)

市民一人ひとりが 主役になれる市民のひろば

～ パートナーシップのまちづくりの手法でつくりあげた市民館 ～

まんなかには愛のあるまち

CHINO
茅野市

長野県 茅野市

【茅野市の概要】

茅野市は、長野県の中部やや東よりに位置する諏訪地方の中央にあり、富士山に次ぐ広大な裾野をもつ八ヶ岳火山帯の西側北半分を占めています。諏訪盆地平坦部の南部、標高770mから1,200mにわたるゆるやかな裾野には多くの集落、耕地が展開し市民生活、産業、文化等の基盤となっています。

気象は、年間をとおして晴天が多く、湿度は低く、日中は比較的高温に比べ夜間は冷える大陸的気候に近く、四季の変化にとんでいます。冬の寒さはたいへん厳しいですが春夏秋の住み心地は快適で、夏の避暑地として八ヶ岳・蓼科高原・白樺湖・車山などの観光地や別荘地を擁しています。

◎市制施行 S33年 8月 1日

- ・面積 266.59 km²
- ・標高 市役所 801m (最高：赤岳 2899m、最低：宮川中沖 762m)
- ・人口 55,304人 世帯数 24,183戸 (R5.4.1現在)
老年人口(65歳以上) 17,283人 (31.8% : R5.4.1現在)
- ・観光 約 214万人/年 観光客(R2年度) ※H3：532万人(ピーク)、H16：400万人
- ・工業 約 2062億円 出荷額(R2)
- ・商業 約 835億円 販売額(H28)
- ・農業 約 38億円 産出額(H27)

- ・観光 蓼科、白樺湖、車山、八ヶ岳
- ・工業 電子・機械工業
- ・農業 高原野菜(セロリ・レタス)
花卉(リンドウ・キク他)
- ・名産 寒天 味噌 酒 のこぎり

◎R5当初予算 343.4億円

R5市税収入 89億円

◎議員定数 18人 法定 30人

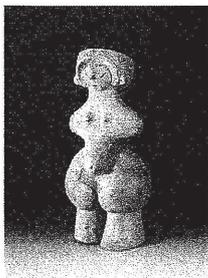
●日本一

①市役所の標高 801m

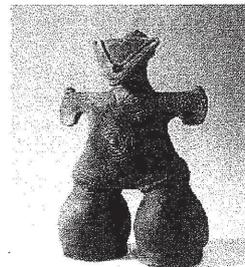
②国宝土偶を2体所有

最古(約5000年前)の国宝「土偶」(縄文のビーナス) H7 国宝指定

国宝「土偶」(仮面の女神) H26.8 国宝指定



国宝「土偶」(縄文のビーナス)



国宝「土偶」(仮面の女神)

③角寒天生産高

茅野市民館における市民参加型の公共施設づくり

茅野市民館建設のプロセス・手法

1 「新市民会館建設及び周辺整備基本構想」策定について

(1) 経過

○パートナーシップのまちづくりの手法

昭和63年、全国の都市で4番目となる「生涯学習都市宣言」を行いました。

平成7年、生涯学習都市宣言から7年間の市民意識や活動、要望等を把握するため、市民2,000人を対象に「生涯学習市民意識調査」を実施

この調査の結果から、市民の意識は「『個人的課題』から『社会的課題』へ」「『個人の自己充足と自立』から『学んだ成果を地域に還元』へ」という「まちづくり」に指向していることが明らかになりました。

また、この調査結果をもとに、平成8年度全市・全庁で取り組む課題を「地域福祉」「生活環境」「教育問題」の重点3課題と設定しました。

平成10年、生涯学習都市宣言以降の取り組みや重点3課題への取り組みと、21世紀の生涯学習とまちづくりのあり方を展望する「生涯学習10年の総括と展望」を行いました。

この「総括と展望」では、平成8年から動き出した重点3課題の各分野における「実践する提言集団」の活動を高く評価し、「市民・民間主導、行政支援によるパートナーシップのまちづくり」の姿勢が必要不可欠として、生涯学習の進む先が「パートナーシップのまちづくり」にあることを明確に打ち出しました。

こうした背景のもと、市民・民間と行政が協働して、政策の企画・実施・評価などの過程を、責任分担を確認し合いながら推進しました。市民が本気になって意見を出し合い、行政が支援するという形によって課題への取り組みが本物となり、まちづくりの熟度が深まりました。

○平成11年8月27日 基本構想の検討・提案を行うために、市民会館を高い頻度で利用していた方々や、新市民会館にさまざまな提案をいただいた方々、あるいは専門的な学識経験者などを含めた市民23名で、民間組織「茅野市の地域文化を創る会」を設立しました。

○県内県外の視察と9回のワークショップを実施して、基本構想素案がまとめられました。（市に寄せられた全ての情報「市長への手紙、市民アンケート、さまざまな提案」がワークショップの中で活用されました）

○平成12年10月6日 議会説明と意見聴取、地元区地権者商業会に説明を経て基本構想が策定されました。

(2) 基本構想の概要

○ホールを中心とした文化交流施設であり、美術館機能、図書館を含むコミュニティ機能を併設する施設とする。（大ホール、小ホール、ホワイエ、楽屋、練習室、美術館の常設展示室、市民ギャラリー、美術館の収蔵庫、ロビー、事務室は行政窓口を付帯、図書室、託児室、会議室、FM局、CATVサテライト、喫茶レストランなど）

○駅前立地を活かした茅野市の玄関口・まちの顔としての周辺整備を行う。

(3) 基本構想の活用

○基本構想は、設計者の選定と基本計画（数値化）策定の基本的考え方として活用されました。

2 設計者の選定

(1) 基本的な姿勢

○市民提案を十分活かすことのできる方式を検討し、その結果最適な設計者を選ぶプロポーザル方式により選定を行うことに決定しました。

(2) 選考基準

○選考基準は次の4項目により、総合的に評価されました。

- ①基本的な設計者としての資質・信頼性、総合的な能力
- ②都市づくりに配慮した設計能力
- ③住民との対話能力
- ④21世紀の新たな公共施設のあり方に対する構想能力

(3) 実施方法

○平成13年1月14日、市と市民代表、専門家（建築設計、都市計画、劇場建築計画、建築史、都市デザイン）の選定委員8名から推薦された26社（内1社辞退）の中から8社を選考し、最適な設計者と次点の選定を行いました。この全ての過程（プレゼンテーション、ヒヤリング、検討討論、投票、結果報告）を一般公開方式で行いました。（公募により市民および関係者120名参加）

3 基本計画・実施設計の検討

○平成13年6月25日、基本計画策定委員会を組織しました。

（「茅野市の地域文化を創る会」のメンバーを中心に、ホール活用の自主事業グループ、市美術協会、読り一む in ちの（読書活動団体）などから推薦された市民35名による）

平成14年1月18日まで、幹事会（委員長、副委員長、各部長・副部長）と4部会（管理運営準備委員会部会、ホール部会、美術館部会、図書館部会）においてこれらの市民と設計者が50回近いワークショップを実施して、設計条件を検討しました。

各部会の運営は多くの市民が参加できるように、拡大部会方式で行いました。

また、障害者団体と策定委員会の懇談会を行い、ユニバーサルデザインに生かすことにしました。

○平成14年2月25日から、管理運営計画策定委員会（基本計画策定委員会と同じメンバーの市民35名）と幹事会（委員長、副委員長、各部長・副部長）で構成された策定委員会を計22回行い、基本設計案と実施設計案の検討を行いました。

4 管理運営計画の策定

○平成14年2月25日、市民35名による新市民会館管理運営計画策定委員会を組織し、市民と専門家と行政が協働で茅野市民館の管理・運営について検討を行ってきました。

幹事会・策定委員会を合計62回開催してまとめました。

○管理運営計画の基本方針

「芸術から産業に至るまで、生活の全てにかかわる多様な地域文化創造」を市民・民間と行政が一体となった「パートナーシップのまちづくり」の理念と手法により取り組んでいく。

○市民館の基本理念

- 1 市民一人ひとりが主人公になれる場
- 2 幅広い人々の交流の場
- 3 芸術から産業にいたるまでの地域文化の創造と情報の受発信
- 4 茅野市の顔としての環境づくり
- 5 中心市街地のまちづくり

5 建物名称の選定

○平成16年3月11日から4月30日まで新市民会館の愛称を募集し、494点の応募がありました。

新市民会館管理運営計画策定委員会の委員、設計者及び行政関係者からなる“新市民会館愛称選定委員会”（内、市民10人）を開催し、応募作品の中から採用候補作品1点と特別賞候補5点を選定、その結果、愛称、正式名称ともに「茅野市民館」に決定しました。

6 管理運営

○市民が主体となって、基本構想の策定から建設、管理運営に至るまであらゆる過程において必要な機能や管理運営体制の検討がなされました。

「管理運営計画」に盛り込まれた指定管理者制度の第1号として、市100%出資の株式会社が直接的な管理運営をしています。また、パートナーシップのまちづくりの理念と手法により市民が設立した「NPO法人サポートC」と協働しながら、その手法が現在も継続されています。

7 茅野市民館の設計・建設のプロセスにおける市民参加一覧

○パートナーシップのまちづくりとしての位置づけ

○市民参加のプロセス・デザインと参加市民の選定

○市民参加（茅野市の地域文化を創る会）による基本構想の策定

○公開審査型プロポーザル方式による設計者の選定

○市民参加（基本計画策定委員会）による基本計画の策定

○市民参加（管理運営計画策定委員会）による基本設計・実施設計の検討

○市民参加（管理運営計画策定委員会）による管理運営計画の策定

○市民によるプレイベントの企画・運営・実施

- 愛称募集・決定
- 管理・運営への市民参加

8 茅野市民館建設とその後の経過

- 平成15年8月2日 新市民会館建設工事起工
- 平成17年3月 定例市議会において㈱地域文化創造が平成17年4月から3年間の指定管理者に決定
- 平成17年3月31日 新市民会館建設工事竣工
- 平成17年7月17日 竣工式典、プレオープン
- 平成17年10月1日 グランドオープン
- 平成19年12月 定例市議会において㈱地域文化創造が平成20年4月から5年間の指定管理者に決定
- 平成24年9月 定例市議会において㈱地域文化創造が平成25年4月から5年間の指定管理者に決定
- 平成29年9月 定例市議会において㈱地域文化創造が平成30年4月から5年間の指定管理者に決定
- 令和4年9月 定例市議会において㈱地域文化創造が令和5年4月から5年間の指定管理者に決定

9 茅野市民館受賞歴

- 平成18年 JCD Desing Award 銀賞
- 平成19年 日本建築学会賞（作品）
- 平成19年 日本建築学会作品選奨
- 平成19年 日本建築家協会賞
- 平成19年 国際照明デザイナー協会（IALD）Radiance Award
- 平成19年 北米照明学会（IILD）Award of Merit
- 平成19年 グッドデザイン賞
- 平成30年 地域創造大賞（総務大臣賞）

「茅野市民館」整備事業推進フロー

二重枠

部分は市民参加により検討

1999(H11)8/27-2001(H13)5/29 10回

茅野市の地域文化を創る会
・構想案検討

23人

議会 00(12)3/3

←市民アンケート
要望等行政資料の提供:行政
庁議 00(12)1/13 企画会議
00(12)2/24 部長会議

区長・商業会代表

茅野駅東口整備検討委員会

専門家、コンサルタント

基本構想策定

00(12)10/6

設計プロポーザル

01(13)1/14

設計プロポーザル提出者
選考委員会、
設計者選定委員会
専門家6 市民1 市1

基本計画策定委員会 49回
基本計画案:設計条件の検討
・ホール部会
・美術館部会
・図書館部会

35人

01(13)6/25-02(14)1/18

建築設計者

障害者懇談会

01(13)12/14

企画会議 02(14)1/22

地元区地権者説明会

01(13)11/15

議会 02(14)2/14

基本計画策定

議会 02(14)6/7

茅野駅東口整備検討委員会・地元区地権者説明会

02(14)6/18

管理運営計画策定委員会
(設計案と管理運営計画案の検討)

84回

35人

02(14)2/25-04(16)11/3

基本設計

議会 03(15)3/5

実施設計

入札 03(15)7/8 議会 03(15)7/22

建設工事

03(15)8/2

議会 04(16)3/4

管理運営計画策定

04(16)5/26

運営委員会 05(17)2/3-06(18)4/12

竣工

05(17)3/31

グランドオープン 05(17)10/1

NPO 法人
サポートC
06(18)11/17

協働

指定管理者
(株)地域文化創造
05(17)4/1

協定
(管理運営)

茅野市

事業企画会議
06(18)9/9-

管理運営:企画総務部
パートナーシップのまちづくり推進課

施設整備:都市建設部
中心市街地活性化推進室

管理運営移管:教育委員会
生涯学習部生涯学習課 15(27)4/1

市民館協議会
07(19)4/16-

美術品寄附等検討委員会
05(17)4/1-

茅野市民館建設及び周辺整備事業計画

(単位千円)

区分	総事業費	年次計画								
		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		
		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	
事業内容	基本設計委託費	56,983	基本設計 (起債対象外)	56,983						
	実施計画委託費	132,962	実施設計		132,962					
	工事監理委託費	59,850				工事監理 (36%)	21,546	工事監理 (64%)	38,304	
	建設工事費	4,507,222				建設工事 (37%)	1,680,000	建設工事 (63%)	2,827,222	
	本体関連工事他費	248,556						本体関連工事	248,556	
	解体工事費	54,825				解体工事	44,850	解体工事 (自転車置場)	9,975	
計	5,060,398		56,983		132,962		1,746,396		3,124,057	
財源内訳	地総債	3,549,100		0	97,700		1,254,500		2,196,900	
	臨経債	0		0			[本体分12,238,600 その他 15,900		[本体分2,065,100 その他 474,500	
	基金	1,268,699		49,000	35,262			257,280		927,157
	一般財源	242,599		7,983	0		234,616		0	
	計	5,060,398		56,983		132,962		1,746,396		3,124,057

※ 事業内容及び事業費には、事務費を含めていない。

基金	利息積立金		28,057	29,555		6,024		1,526
	取崩額	H12年度末基金残高	49,000	35,262	(予算457,280)	257,280	(予算1,030,156)	927,157
	年度末基金残高	2,121,423	2,100,480	2,094,773		1,843,517		917,886

地総債 … 中心市街地活性化特別対策事業（充当率：75%、交付税措置率：50%、借入利率：年0.607%～2.5%予定（償還期間：10年及び20年、うち据置期間3年））

臨経債 … 臨時経済対策事業債充当残充当事業（充当率：25%、交付税措置率：45%、借入利率：年1.122%（償還期間：10年、うち据置期間3年））

その他 … 都市再生区画整理事業から旧市民会館解体移転補償費として568,651千円（一般財源扱い）の収入がある。

茅野市民館の建設経過等

- 1 昭和 42 年茅野市民会館が開館。
- 2 市民要望の多様化、高度化、線路に隣接し騒音・振動等がひどい、冷暖房設備の問題。
- 3 平成元年岡谷市カノラホール、下諏訪町文化センター等近隣市町村の文化ホールが整備され、茅野市民の中にも建替え要望が高まった。
- 4 平成 6 年、「市民のための文化会館建設を願う会」（以下「願う会」。）が設立。
- 5 平成 7 年、「願う会」と市長とが懇談し、清掃センター建設終了後に市民会館の建設計画スタートを約束。
- 6 平成 10 年、「願う会」は市長に要望書を提出。施設、管理運営について様々な面で要望（平成 10 年度 市長部局に生涯学習推進室を設置（平成 9 年度まで生涯学習部生涯学習課）、平成 11 年度に生涯学習推進室をパートナーシップのまちづくり推進室に改組し、生涯学習の総合企画調整と地域文化の創造を担当。個人、小グループの生涯学習活動はこれまで同様教育委員会が担当するが、「まちづくり」につながる活動に対する支援等の担当を市長部局に置いた。また、パートナーシップのまちづくり推進室は、市長の特命事項を担当し、市民会館の建替事業の他国際交流や男女共同参画等もこの推進室が担当することになった）。
- 7 要望に対し、次のように回答。
 - ・平成 11 年度からヒアリング調査を実施すること
 - ・市民主導・行政支援の検討委員会を設置すること
 - ・検討委員会に参加した市民が運営にも責任を持っていただくため、後に運営委員会につながるものであること
 - ・使用料の減免に対する要望に対し、施設を使用しない人にまで税金で負担してもらうことになるため、受益者負担の考え方が必要
- 8 平成 11 年度から、関係者、関係団体等にヒアリングを開始。

共通意見として「市民が芸術文化活動を行う場であり、一般市民も含めて様々な市民が交流し、協働する場」や「常に人が集まり、いつでも自由に人々が入り出て、いろいろな芸術・文化活動に触れることができる場」とすることが求められた。「市民組織作り、ロビーでのパフォーマンスや展示、情報コーナーや飲食スペースの設置」等の施設像が浮かび上がる。
- 9 全戸対象に市民アンケートを実施。

アンケート冒頭には「市民の生涯学習や地域文化創造の交流拠点」とする意向が示され、結果報告には「茅野市の地域文化創造」に取り組むと決意が示されていた。
- 10 茅野市芸術文化協会を通じ、57の加盟団体にアンケート調査を実施。
- 11 平成 11 年新市民会館建設に関わる市民活動の会は、建設後の利用者を中心に「茅野市の地域文化を創る会」を立ち上げる。
- 12 「茅野市の地域文化を創る会」への市からの条件提示。

- ・建設費 50 億円
- ・中心市街地活性化のため、駅東口の整備を含めた一体的な開発にすること
- ・複合機能としてホールの設置に加え、美術館、図書館が考えられること

13 平成 11 年 3 月「茅野市中心市街地活性化基本計画」策定。

- ・中心市街地では、市街地再開発事業で再開発ビル、駅ビル、駅前広場等が整備されたが、街路整備や面的な市街地整備が遅れ、中心市街地へのアクセス改善が課題
- ・中心市街地はアクセスが悪く、駐車場が不足、加えて郊外大型店舗の増加等空き店舗が目立ち、活性化が大きな課題
- ・ハードとソフト両面を含む再構築計画により、住む・商う・憩う・集うが融合する「地域交流拠点としての整備」を、行政・商業者・市民全員で総合的に行う必要がある。
- ・駅東商店街地区は、区画整理事業により、街路整備、交通広場事業、駐車場整備事業を行い、交流拠点づくりとして地域交流センター建設事業（老朽化した市民会館の建替えを契機に建設する）が計画される

以上のように、茅野市民館の建設事業は、旧市民会館の建替による文化ホールの設置、美術館・図書館の設置、交流広場の設置事業に加え、中心市街地の活性化という大きなまちづくりの括りの中で進められた。

領収書等貼付用紙

【調査研究費】

領 収 証

林 晴道

様 No. 617

★
¥7,400 -

内 訳	
現金	
小切手	/
手 形	/
消費税(10%)	¥672
消費税(8%)	¥0
内税額計	¥672

但 ご宿泊代として
(2025年4月23日より 1泊 1名様)

2025年 4月 23日 上記正に領収いたしました
登録番号 T8-1000-0101-9138

収入印紙

〒391-0001長野県茅野市ちの3556
株式会社 ちのステーション
TEL 0266-72-1245(代)

領 収 証

2025年4月25日

お名前

林 晴道

様

PRIVATE RESORT **XIV** エクシブ夢科

¥15,550
10%対象 入湯税 ¥15,400 内消費税 ¥1,400

<<内訳>>

現金	¥0
クレジット	¥15,550
割引券	¥0
商品券	¥0
担当	菊池 真吾

印紙税申告納

付につき名古屋中

税務署承認済

作成地名古屋市中区
リゾートトラスト株式会社

ご利用代として

登録番号: T5180001041871

No. 185459-185459

※領収印のないものは領収証となりません。

XIV エクシブ夢科

〒391-0301 長野県茅野市夢科高原北山4035
TEL 0266-71-8111

14,800円が上限

領収書等貼付用紙

【調査研究費】

領収書
Receipt
領収年月日 2025.-4.21 登録番号: T9011001029597
金額 ¥17,920 税10%
様 林 晴道
〔クレジット扱い〕
購入商品 JR乗車券類
(50040 8枚)
東日本旅客鉄道株式会社
(総) 旭駅VF1発行 60041-02
印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

<往復>

新宿駅 ↔ 茅野駅

17,920円 ÷ 4人

= 4,480円 / 人

領収書
Receipt
領収年月日 2025.-4.19 登録番号: T9011001029597
金額 ¥10,340 税10%
様 林 晴道
〔クレジット扱い〕
購入商品 JR乗車券類
(50089 2枚)
東日本旅客鉄道株式会社
(総) 旭駅VF1発行 60090-02
印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

<往復>

飯岡駅 ↔ 茅野駅

(乗車券)

領収書
Receipt
領収年月日 2025.-4.19 登録番号: T9011001029597
金額 ¥3,160 税10%
様 林 晴道
〔クレジット扱い〕
購入商品 JR乗車券類
(00098 2枚)
東日本旅客鉄道株式会社
(総) 旭駅VF1発行 10099-02
印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

<往復>

飯岡駅 ↔ 東京駅

(特急券)

領収書等貼付用紙

【調査研究費】

領収証 林 晴道 様
ご利用日付 2025年04月24日
時刻 08時36分

取引内容 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金200円
お支払方法 内訳
現金 金200円

伝票番号 26942

- この領収証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

茅野駅 券102発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

領収証 林 晴道 様
ご利用日付 2025年04月24日
時刻 11時02分

取引内容 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金200円
お支払方法 内訳
現金 金200円

伝票番号 19768

- この領収証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

上諏訪駅 券102発行
登録番号 T8011001029597 JR東日本

活動実施報告書

令和7年12月1日

【 広報費 】

(議員名)

林 晴道

年月日	令和7年6月30日(月)			
活動場所	旭市内			
相手方	近藤工房株式会社			
活動の目的・内容・成果等	(目的) 議会タイムズVol. 122の作成及び印刷			
	(内容) ・地域課題や議会から所属している各委員会等とその役割について掲載したチラシを作成し、ポスティングや手配りを行った。 ・議会タイムズの印刷を近藤工房株式会社に依頼(11,000部)			
	(成果等) ・議員活動について市民に周知することができた。 ・市政報告書の内容について問い合わせや要望があり、次回の一般質問に生かしていきたいと考えている。			
上記活動に要した経費	行き先	利用交通機関	経路	金額
	印刷製本費	152,350円×77.68%=118,345円		内容：11,000部
	手数料			内容：
	資料購入費			内容：
その他()			内容：	
備考	議会タイムズVol. 122、広報誌按分計算書を添付			

領収書

2025年06月30日
No. 20250630-002

林 晴道様

金額 ￥152,350 -

但: 政務活動用チラシ作成(議会タイムズvol122)・印刷代(11,000枚)
)として

上記正に領収いたしました

小計	¥138,500
消費税(10%)	¥13,850

近藤工房株式会社

〒289-3181
千葉県匝瑳市野手
17115

